

Reply from the Author

「cART 開始 2 年後に薬剤耐性化による HIV 脳症をきたした 1 例」について

関谷 博顕^{1)*} 川本 未知¹⁾ 十河 正弥¹⁾
吉村 元¹⁾ 今井 幸弘²⁾ 幸原 伸夫¹⁾

Response regarding “HIV encephalopathy due to drug resistance despite 2-year suppression of HIV viremia by cART”

Hiroaki Sekiya, M.D.¹⁾, Michi Kawamoto, M.D.¹⁾, Masaya Togo, M.D.¹⁾,
Hajime Yoshimura, M.D.¹⁾, Yukihiro Imai, M.D., Ph.D.²⁾ and Nobuo Kohara, M.D., Ph.D.¹⁾

¹⁾Department of Neurology, Kobe City Medical Center General Hospital

²⁾Department of Pathology, Kobe City Medical Center General Hospital

(臨床神経 2015;55:437)

拝啓

われわれの論文「cART 開始 2 年後に薬剤耐性化による HIV 脳症をきたした 1 例」(臨床神経 2014;54:721-725) に関しまして岸田先生から貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

HIV 脳症という用語についてですが、ご指摘のように HIV にともなう認知機能障害を HIV associated neurocognitive disorder (HAND) と記載することが提唱¹⁾されております。報告症例では、会社の通常業務ができなくなっておりました。また、International HIV Dementia Scale (IHDS) が 10 点と低下しており、HAND の分類に従えば、HIV 認知症 (HIV-associated dementia; HAD) の分類に入ります²⁾。HAND の分類では病因や臨床経過については考慮されないため³⁾、今回の報告ではそれらを鑑み、HIV 脳症と記載いたしました。

また、報告症例が CD8+ 脳炎⁴⁾をきたしていた可能性についてご指摘をいただきましたので、再度この症例の頭部 MRI 画像や臨床経過を検討いたしました。ご指摘の通り、CD8+ 脳炎は cART 中に生じることがあるステロイドが奏功する病態ですが、全例に頭部 MRI で血管周囲に沿った線状の造影効果がみられたと報告されています。報告症例では血管周囲に CD8 陽性リンパ球の浸潤がみられ、CD8+ 脳炎を発症していた可能性は完全には否定できません。しかし、頭部 MRI では造影病変がみられなかったことは CD8+ 脳炎としては非典型的と考えます。また、本文に記載いたしました通り、報告症例では抗 HIV 薬への耐性が判明し、CD4 が低下していたり、陰性化していた HIV ウイルスが陽性になったりするなど、むしろ免疫力低下の時期の発症であることなども CD8+ 脳炎の

経過と異なります。抗 HIV 薬変更により、ステロイドなしでも認知機能が正常化するなど臨床症状が改善したことも CD8+ 脳炎としては必ずしも合致しない経過であり、中枢神経系における抗 HIV 薬の血中濃度が十分ではなく、HIV の薬剤耐性をきたした、いわゆる「CSF viral escape⁵⁾」に近い病態であったと考えております。

この度はわれわれの報告に対して大変貴重なご指摘をいただき、誠にありがとうございました。

敬具

※本論文に関連し、開示すべき COI 状態にある企業、組織、団体はいずれも有りません。

文 献

- 1) Antinori A, Arendt G, Becker JT, et al. Updated research nosology for HIV-associated neurocognitive disorders. *Neurology* 2007;69:1789-1799.
- 2) 森岡 悠, 岸田修二, 今村顕史ら. HIV 関連神経認知障害が疑われた HIV 感染者の検討. *感染症誌* 2014;88:141-148.
- 3) Clifford DB, Ances BM. HIV-associated neurocognitive disorder. *Lancet Infect Dis* 2013;13:976-986.
- 4) Lescure FX, Moulignier A, Savatovsky J, et al. CD8 Encephalitis in HIV-infected patients receiving cART: a treatable entity. *Clin Infect Dis* 2013;57:101-108.
- 5) Canestri A, Lescure FX, Jaureguiberry S, et al. Discordance between cerebral spinal fluid and plasma HIV replication in patients with neurological symptoms who are receiving suppressive antiretroviral therapy. *Clin Infect Dis* 2010;50:773-778.

*Corresponding author: 神戸市立医療センター中央市民病院神経内科 [〒 650-0046 神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1]

¹⁾ 神戸市立医療センター中央市民病院神経内科

²⁾ 神戸市立医療センター中央市民病院臨床病理科

(受付日: 2014 年 10 月 31 日)